

11.16 木

13:30~15:00

YouTube配信 / 申し込み不要

核兵器禁止条約の第2回締約国会議に 向けたNGO共同記者会見

配信はこちら

Japan NGO Network

for Nuclear Weapons Abolition
核兵器廃絶日本NGO連絡会

核なき世界を
日本から



締約国会議の概要

- ❖ 国連軍縮部(ODA)の公式ページ

<https://meetings.unoda.org/tpnw/tpnw-msp-2023>

- ❖ 会議 Documents 一覧 <https://meetings.unoda.org/meeting/67225/documents>

- 暫定議題のほか、3つの作業グループ(普遍化、第4条、第6・7条)の報告書、他条約との協力に関するファシリテーターの報告書、ジェンダー・フォーカルポイントの報告書、科学的諮問グループの報告書などが掲載

- ❖ NGOサイドイベント等 — ICANホームページ https://www.icanw.org/2msp_events

- ❖ ICANからの基本情報 — https://www.icanw.org/tpnw_second_meeting_of_states_parties

- ❖ 世界から120以上のNGOが参加登録

- ❖ ドイツ、ノルウェー、オーストラリア、スイスなどがオブザーバー参加予定

世界のヒバクシャの参加、国会議員会議の開催

❖ 世界の核被害者 30名以上が参加

- 日本の被爆者・被爆2世
- 韓国の被爆者・被爆2世
- カザフスタン、オーストラリア、キリバス、フィジー、マーシャル諸島、マオヒヌイ(仏領ポリネシア)、ソロモン諸島、米国など核実験被害地からの参加
- 核被害者援助・環境修復に関して提言

❖ 国会議員

- 核保有国・依存国など16カ国から30名以上が参加予定
- 日本から谷合正明(公明、参)、塩村あやか(立憲、参)、笠井亮(共産、衆)
- 国会議員会議(11月27日午後)を開催し、声明を採択・発表

日本原水爆被害者団体協議会

❖ 日程 11月25日出発～12月3日帰国

❖ 代表 2人 箕牧智之(代表委員)

木戸季市(事務局長)

❖ おもな行動

★締約国会議の傍聴(ワーキングペーパー提出、発言申請中)

★サイドイベント等に参加

11月27日午後1:15～「核兵器のない世界を求める市民社会の声」

11月29日午後1:15～「人類と核兵器は共存できない」

11月30日午後2時～ 核被害者フォーラム

★証言活動 11月28日夕方、教会 29日午後、大学で

★他団体との共同行動に参加



核戦争に反対する医師の会(反核医師の会より代表派遣)

反核医師の会
核戦争に反対する医師の会

**Physicians
Against
Nuclear
War**



広島で、長崎で私たちの先輩医師たちは原爆で傷ついた人を助けようと懸命の努力をしました。
しかし放射能障害を前に医学は無力でした。
そのことは、今も変わりません。そして今後も・・・
治す事ができないのなら、私たち医師の勤めは予防する事。
住民の生命を守るため、医師として「核兵器」を廃絶させなければと、全国各地に「反核医師の会」が出来ました。
私たち「核戦争に反対する医師の会」はその集まりです。

放射能の前で医学は無力であった。

治療できなければ予防しなくてはならない

* 光武 鮎(常任世話人、長野県松本協立病院小児科医)

* 石崎 明珠(学生会メンバー、金沢大学医学生)

核戦争のない世界のために、日本の医学生として、国内・世界へアピールを行う。

原水爆禁止日本協議会

141万超の「禁止条約参加署名」を日本政府に提出

☆日本原水協代表団32人【11月26日出発～12月4日帰国】

被爆者2人(広島県被団協、愛友会)、被爆2世3人(愛知、長崎)

中央団体:全労連、新婦人、全日本民医連、日本のうたごえ

青年代表5人:東京学生ツアー、長野県民医連、兵庫県民青

県原水協:北海道、東京、神奈川、長野、愛知、三重、兵庫、岡山、広島、香川、長崎

日本原水協事務局:安井正和(団長)、土田弥生(運営担当)、嶋田侑飛



☆代表団の主な活動

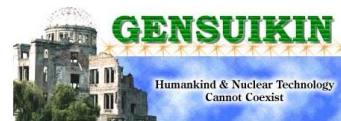
- ①代表団は、可能な限り締約国会議に出席し、討論を傍聴します。
- ②締約国会議期間中、オーストリア政府の後援でサイドイベント(関連行事)「人類と核兵器は共存できない—被爆者は核兵器禁止条約を支持する」(11月29日、13時15分～)を成功させます。
- ③国際団体、各国のNGOが企画する諸行事に可能な限り出席し協力します。青年交流会、国際会議、大衆集会、アメリカとロシア代表部への抗議行動(28日)、日本領事館前でのアピール行動(30日)など。

原水爆禁止日本国民会議(原水禁)



❖ 原水禁代表団派遣6人(11月26日出発・12月1日帰国) 責任者:事務局長 谷雅志

高校生平和大使・高校生1万人署名活動より 広島尾崎心泉さん 長崎:安野美乃里さん



高校生平和大使経験大学生 牟田悠一郎さん・大内由紀子さん(Connect Hiroshima)・安野伊万里さん(アメリカ留学生)

⇒「被爆の実相の次世代継承」とあわせて、核兵器廃絶を願う若い世代の声を世界に発信する

❖ 日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准をするべき・せめて今回はオブザーバー参加を！

大内由紀子さんを中心とした「Connect Hiroshima」(大学生グループ)が署名を日本政府に提出43,288筆)

⇒ 短期間のとりくみ・広島原水禁を中心に協力「核兵器禁止条約は『出口』の条約ではなく、入口だ」

原水禁HP:<http://gensuikin.peace-forum.com/>

世界宗教者平和会議日本委員会



- ❖ WCRP日本委員会から代表者を1名派遣
- ❖ TPNW第2回締約国会議傍聴
- ❖ サイドイベントへの出席と発題
 - 主 催:世界宗教者平和会議国際委員会、アフリカ宗教指導者評議会
 - 日 時:12/1(金)1:00 AM~2:30AM(日時ともに日本時間)
 - テーマ:持続可能な平和、正義、開発のための TPNWの普遍化における宗教者とICANの戦略的パートナーシップの役割
 - 場 所:国連チャーチセンター8F(Zoom併用開催)
- ❖ TPNW第2回締約国会議の成果を踏まえ、メッセージの発信など、諸宗教協力に基づく今後の宗教者の活動につなげる
- ❖ 会報・HP・SNSでの報告

世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会ホームページ(<https://www.wcrp.or.jp>)

日本反核法律家協会



- ❖ 日本反核法律家協会の目的「核兵器廃絶」と「被爆者支援」

- ❖ 山田寿則明治大学講師を派遣する
 - 日本反核法律家協会理事 / 国際反核法律家協会理事
 - 国際法の専門家として、特に、被爆者支援や環境修復のための具体的取組についてフォローしてもらう予定。

- ❖ 核兵器の廃絶を待たなくてもできることを進めていくための努力をしたい。

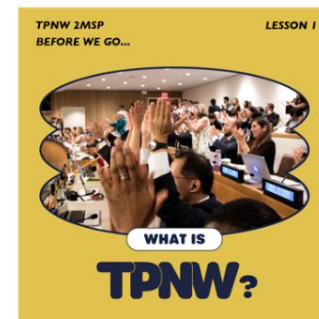
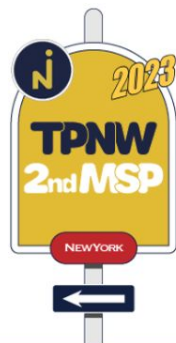
KNOW NUKES TOKYO



メンバー4人が現地に渡航

中村涼香/山口雪乃/中村生/今西はな

- ネットワークの構築
- 現地から最新情報を発信すること
- 国際的な核軍縮の議論を学び、共有すること
- 日本国内での核兵器禁止条約の認知を上げる



ピースボート

- ❖ 代表者を4名派遣
- ❖ ICANキャンペーナー会議への参加
- ❖ 世界の核被害者の取り組み支援
 - 核被害者のネットワーキングのサポート
 - 核被害者援助・環境修復に関する提言
- ❖ 国会議員会議のサポート
 - 11/27(月)国会議員会議のサポート
- ❖ 東北アジアの非核化・平和に向けて
 - 11/29(水)東北アジアにおける軍縮と平和構築(GPPAC東北アジア)
- ❖ ワーキングペーパーの提出、ステートメント(準備中)



ICAN
PARTNER

核兵器廃絶日本NGO連絡会

❖ 「世界中継2023冬～ニューヨーク核兵器禁止条約速報～」(Youtube配信イベント)

➤ 11/27(月)～12/2(日)8:30 AM～(日本時間)

❖ オンライン記事

➤ ① 第2回締約国会議の内容・成果

② ユース・ブログ

❖ ワーキングペーパーの提出(準備中)

ステートメント(交渉中)

❖ NGO連絡会ホームページ(<https://nuclearabolitionjpn.com>)

